

コスパー(COSPAR)

向井 正¹

(1) コスパーとはどんな組織か？

Committee on Space Research(COSPAR)は、広く受け入れられている日本語訳がないので、ここではコスパーと呼ぶ。コスパーは、1958年10月に、ICSU(International Council of Scientific Unions)によって設立された。この国際組織の設立目的として、1957年から58年にかけて行われた、International Geophysical Year(IGY) で取り組まれたロケットや衛星を用いた共同研究を、恒常的に進めることが挙げられる。当時は、冷戦の時代で、旧ソ連圏と西側との各種の関係維持が難しくなっていた。そのため、IGYをきっかけとして、両者が共に議論する場を、宇宙科学の分野で確保したいという願いがこめられていた。この背景を反映して、設立趣意書には、この組織が政治的思惑を排除して、純粋に科学的見地からのみ活動することが明記されている。

コスパーには、個人会員という制度はない。会員は2種類で、(1) 各国を代表する国内組織と、(2) ICSU傘下の国際科学組織（例えば、Intl Union of Geodesy and Geophysics(IUGG), Intl Astronomical Union(IAU)等）である。(1) に相当する国内組織は、日本学術会議・宇宙空間研究連絡委員会（委員長・西田篤弘・宇宙科学研究所長）である。現在この委員会は、国内の関連分野の各種機関からの22名の委員によって構成されている。

コスパーは、惑星間飛翔体、ロケット、気球を用いた科学研究を国際協力によって推進していくことを主な目標としている。このため、7つの分科会 (Scientific Commissions)と、4つのパネルがある。即ち、

- (A)宇宙空間からの地球表面・気象及び気候の研究,
- (B)宇宙空間からの地球-月系、惑星及び太陽系の小天体の研究,
- (C)宇宙空間からの地球及び惑星の超高層大気の研究,
- (D)惑星磁気圏を含む太陽系のプラズマの研究,
- (E)宇宙空間からの天体物理学の研究,
- (F)宇宙空間に関連する生命科学,
- (G)宇宙空間における材料科学,
- (Technical Panel)衛星のダイナミクス,
- (Panel)気球工学,
- (Panel)宇宙空間環境汚染,
- (Panel)開発途上国における宇宙空間科学.

これらを見ると分かるように、その対象はたいへん広い。このため、コスパー総会は巨大化し、最近の1994年ハンブルグでの第30回総会では、2157の論文が提出され、参加者は1623名であった。各分科では、前回の総会の際に提案された研究会の中から、いくつかが選択され、研究会として組織される。総会毎に、異なるトピックスを扱う多数の研究会が組織され、研究発表が行われる。収録

¹神戸大学理学部地球惑星科学科

はいくつかにまとめられて、Pergamon Pressの、Advances in Space Researchに掲載される。

2. コスパーに参加するには、 どうしたらよいのか？

個人会員制ではないので、案内を受け取ることが難しい。一度参加して、参加料を払った人には、次回の案内が来る。国内の代表組織の幹事（現在は宇宙研の対外協力室が代行している）に問い合わせるとか、知人で受け取っていきそうな人（私でも結構）に聞くとか、すると良い。次回の第31回総会は、1996年7月15日から19日にかけて、イギリスのバーミンガムで開かれる。残念ながら、論文発表のための申し込みは、この1月15日で締め切られた。ただし、参加だけなら、まだ間に合うはずである。コスパーは2年毎に開催される。1998年には、7月6日から11日にかけて名古屋で開催される。97年の秋ごろに参加案内が発送されるので、それを見て、論文発表を申し込めばよい。

3. コスパーで研究会を組織する には、どうしたら良いのか？

各分科会には、細分化された分野を対象とする下部組織が複数個付随している。総会毎にこの下部組織で、ビジネスミーティングが持たれる。ここで、次回の総会で取り上げる研究会の提案が受け付けられる。この結果が、下部組織の責任者による分科会の集まりで報告され、選択が行われる。タイムリーで、かつ魅力があって、参加者を集められそうなトピックスが、選ばれやすい。せっかく名古屋で開催されるのであるから、我々の関心の深いテーマが取り上げられるように努力することが大切である。具体的な方策としては、この7月のバーミンガムでの総会に参加して、研究会の提案（タイトル、組織委員等）をすることであろう。参加できない場合には、各分野で参加しそうな人（日

本人でも外国の共同研究者でも良い）に、ビジネスミーティングでの提案を依頼することが考えられる。そのためには、まず、各分野で有志が集まって、提案内容をつめることをお勧めしたい。